

医療のこれからを考える

～社会的共通資本と新しい資本主義の視点から～

医療の本質はサービスではなく信任である

日本人でノーベル経済学賞に一番近いと言われていた宇沢弘文は誰もがゆたかに暮らせる持続可能な社会のために社会的共通資本という理論を提言していました。新型コロナウイルスで医療制度も、大きく揺らいでいます。より良い未来を構築するために、社会的共通資本から医療のあり方を考えていきます（講師談）。



講師

宇沢国際学館代表取締役
日本メメントモリ協会代表理事
内科医

占部 まり 氏

1965年シカゴにて宇沢弘文の長女として生まれる。1990年東京慈恵会医科大学卒業。1992～94年メイヨークリニックポストドクトラルリサーチフェロー。地域医療に従事するかたわら宇沢弘文の理論をより多くの人に伝えたいと活動をしている。2015年3月には国連大学で国際追悼シンポジウム開催、2019年に日経SDGsフォーラム共催『社会的共通資本と森林』『社会的共通資本と医療』など。宇沢国際学館代表取締役、日本メメントモリ協会代表理事、日本医師会国際保健検討委員。JMA-WMA Junior Doctors Network アドバイザー。

2022年 6月 8日 (水)
19:00～20:30

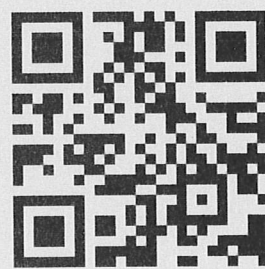
WEB・会場のハイブリッド開催

【WEB】Zoomウェビナー

【会 場】熊本城ホール3F・中会議室C
(熊本市中央区桜町3-40)
※定員40名(先着順)

参加対象: 医師、歯科医師、医療スタッフ
(事前申込制・参加費無料)

お申込みはこちら



<http://bit.ly/3sQ7lXu>

QRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力のうえお申込みください。QRコードからお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。

主催: 一般社団法人熊本県保険医協会

TEL: 096-385-3330 Email: kumamoto-hok@doc-net.or.jp



LINE公式アカウント
友だち募集中!